

SPANCRETE CORPORATION

Investors' Guide IR 2006

会社情報



写真上 Jスラブパネル敷き込み中 写真下 Jスラブスリット加工及び吊上げ金具

株式会社 スパンクリート コーポレーション

本 社

〒113-0033 東京都文京区本郷 4-9-25

Telephone: 03-5689-6311 Facsimile: 03-5689-6321

www.spancretecorp.com

JASDAQ 〈証券コード 5277〉

● みなさまとのコミュニケーションを大切に ●

インベスターズガイドについて

インベスターズガイドは、株主ならびに投資家のみなさまに、当社の財務内容を正確にお伝えするとともに、みなさまとのコミュニケーションの手段として発行を続けてまいりました。毎年約100通のアンケートの回答をいただき、ご意見の一部を編集に反映させていただいております。今後ともみなさまからのご意見をいただきたいと存じますので、同封のアンケート用ハガキにてお寄せいただければ幸いです。

■ 2006年3月期について

2006年3月期は、連結売上高62億9千8百万円（前年同期比39.9%増）、連結経常利益4億1千7百万円（同171.4%増）と増収増益となりました。

スパンクリート事業は、前期からの原材料費等のコストアップの影響もあり、上半期は苦戦いたしましたが、下半期に入り販売価格への転嫁が一部実現し、出荷数量の増加と合理化努力による工場の採算性の向上等も相俟って5千7百万円の営業利益を計上しました。

不動産事業は、賃貸オフィスビルの安定収益に加え、八丁堀の分譲マンション（15階、56戸）が竣工し収益に大きく貢献したこともあり、営業利益2億8千万円（94.5%増）を計上しました。一方、本年3月末に生産体制の集約・適正化を図るべく生産子会社プレテック(株)（熊谷工場）を解散し、清算に伴う損失見込額1億8千5百万円を特別損失に計上した結果、連結当期純利益は1億7千5百万円（同153.8%増）となりました。

■ 2007年3月期の見通し

スパンクリート事業は、更なる原材料費や運送費等のコストアップ要因を抱え先行き楽観のできる経営環境ではありませんが、今次景気回復に伴い高層マンションや流通倉庫などの大型物件の受注が堅調であり、かつ工場集約化による合理化効果も見込まれるので相当程度の収益向上を期待しております。しかしながら不動産事業につきましては、八丁堀マンション事業の完了に伴いプロジェクトベースの収益が剥落し、今期は賃貸ビル3棟の収益しか見込んでおりませんので減収減益となる予定です。両事業合わせた2007年3月期の見通しは、売上高45億円、経常利益3億円、当期純利益1億6千万円となります。

■ 利益分配の見通し

2006年3月期は増収増益となったため2円増配の12円の配当とさせていただきました。

次期の2007年3月期の業績は記述のとおり若干の減益を予想しておりますが、配当につきましては、配当原資等を勘案の上、前年に引き続き2円増の14円（株式分割後は1株当たり7円）と3期連続の増配を計画しております。

■ 投資単位の引下げ

2005年11月1日に単元株式数を1,000株から100株に変更いたしました。また2006年10月1日に1株を2株に分割することを予定しております。

■ 壁用ワイドパネルの引き合い増加

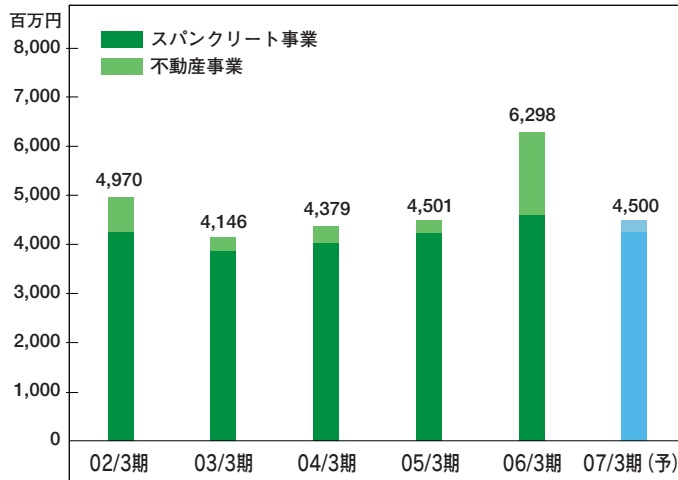
昨年の床用ワイドパネルに端を発し、壁用ワイドパネル（最大幅2m）の引き合いが物流センター・倉庫・ショッピングセンター等の物件で増加しています。

ワイドパネルは施工効率が良いため、工期短縮によりコストダウンを図ることができ、将来的にメンテナンスも容易になります。近年、高層マンションの床板の供給に偏りがちで比較的利益率の高い壁板は一時期受注が減少していましたが、過去には長期間に渡り採用された実績もあり、このたびの受注増に対応すべく、生産工場である岩瀬工場の整備を進めています。

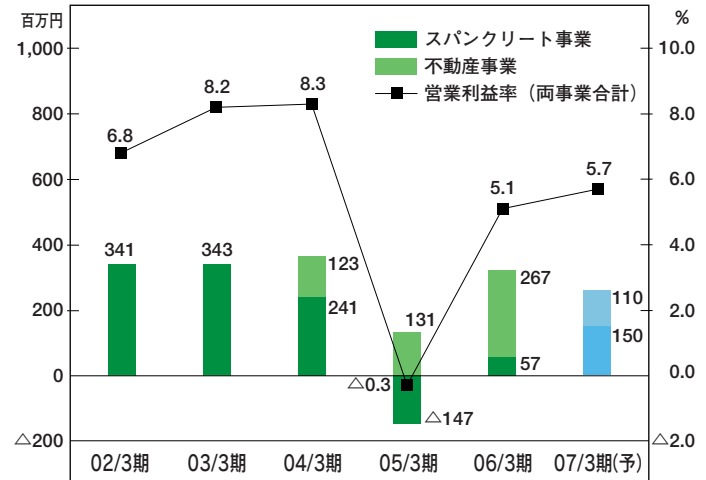
■ JR・鉄道関連

新宿駅南口代々木側線路上に作られる新ターミナルの人工路盤、中央線三鷹～立川間高架化工事型枠に当社床板が採用されました。当社の床板は軽量かつ耐力があるため、プラットホームをはじめコンコース・防音壁などに幅広く採用されています。

売上高



営業利益



* 02/3期・03/3期は部門別営業利益を公表しておりません

損益計算書要旨

(単位：百万円)

	02/3期 単独	03/3期 単独	04/3期 連結	05/3期 連結	(%)	06/3期 連結	(%)
売上高	4,970	4,146	4,379	4,501	100.0	6,298	100
売上原価	4,035	3,248	3,428	3,888	86.4	5,374	85.3
販売費及び一般管理費	593	554	586	629	14.0	599	9.5
営業利益	341	343	364	△16	△0.4	324	5.2
営業外損益	9	30	△20	170	3.8	92	1.5
経常利益	351	374	344	153	3.4	417	6.6
特別損益	△384	△174	—	△31	△0.7	△112	△1.7
税金等調整前 当期純利益	△32	199	344	121	2.7	305	4.8
法人税、住民税 及び事業税	36	78	174	0.03	0.0	133	2.1
法人税等調整額	△83	19	△22	52	1.2	△3	0.0
当期純利益	15	102	192	69	1.5	175	2.8

スパンクリート事業 4,598百万円
不動産事業 1,699百万円
(内八丁堀マンション 1,448百万円)

スパンクリート部門 57百万円
不動産部門等 267百万円

有価証券売却益他 91百万円

100%子会社プレテック㈱清算に伴う損失見込額185百万円を特別損失として計上しました

キャッシュフロー計算書

(単位：百万円)

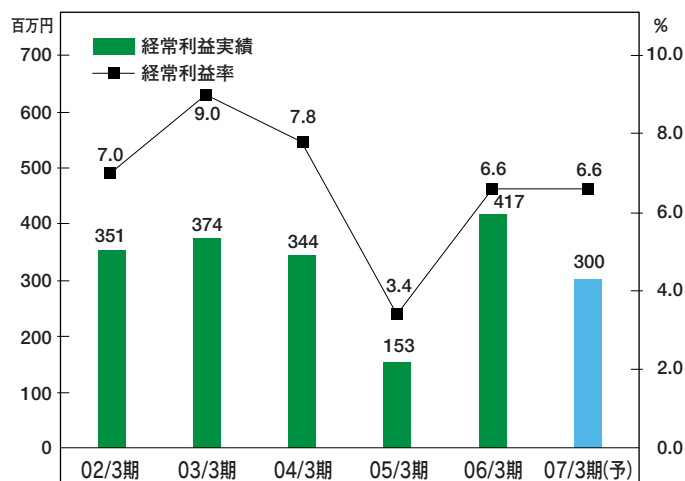
	03/3期 単独	04/3期 連結	05/3期 連結	06/3期 連結
営業活動によるキャッシュフロー				
税金等調整前当期純利益	199	344	121	305
減価償却費	110	163	202	201
運転資金の減少 (現金・預金・有価証券及び短期借入金を除く)	24	△199	△228	412
法人税等の支払額	△21	△100	△127	△5
営業活動から得た現金及び預金	312	208	△32	913
投資活動によるキャッシュフロー				
有価証券の取得による支出	△1,089	△419	△379	△898
有価証券の売却による収入	1,821	1,259	589	737
有形固定資産の取得による支出	△68	△178	△221	△111
その他の投資等の増減額	100	△460	△17	73
投資活動から得た現金及び預金	764	202	△28	△199
財務活動によるキャッシュフロー				
短期借入金の増加額	—	—	—	—
長期借入金の返済による支出	△129	△123	△162	△157
長短借入金による収入	—	—	—	—
自己株式の取得による支出	—	△195	△69	△5
株式の発行(ストックオプション)による収入	17	47	39	17
配当金の支払額	△25	△33	△31	△38
その他	△5	0.3	0.8	—
財務活動から得た現金及び預金	△142	△305	△222	△184
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	3	△0.6	0.1
現金及び預金同等物の純増加額	931	109	△284	530
現金及び預金同等物の期首残高	831	1,762	1,872	1,587
現金及び預金同等物の期末残高	1,762	1,872	1,587	2,118

八丁堀マンション竣工に伴うたな卸資産の減少によるものです

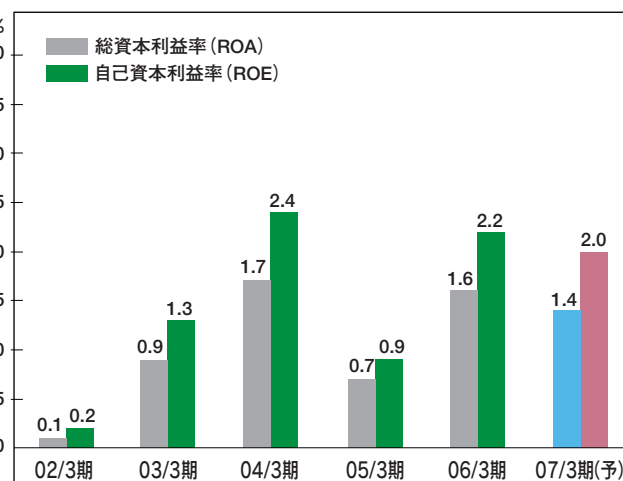
投資有価証券の購入等により減少しております

借入金の返済と配当金の支払によるものです

経常利益



総資本利益率・自己資本利益率



貸借対照表要旨 (資産の部)

(単位: 百万円)

	02/3期 単独	03/3期 単独	04/3期 連結	05/3期 連結	06/3期 連結	(%)
資 産 の 部						
流 動 資 産	3,788	4,691	4,741	4,193	4,230	39.4
現金及び預金	695	1,129	1,287	952	1,714	
受取手形及び売掛金	1,023	1,013	1,341	1,457	1,565	
完成工事未収入金	16	18	10	62	109	
有 価 証 券	972	1,333	786	735	403	
た な 卸 資 産	976	1,121	1,211	916	324	
繰 延 税 金 資 産	22	22	37	18	80	
そ の 他	82	52	66	49	32	
固 定 資 産	7,322	6,401	6,432	6,394	6,505	60.6
有 形 固 定 資 産	4,845	4,748	4,871	4,928	4,737	44.1
建物及び構築物	1,370	1,294	1,307	1,272	1,146	
機械装置及び運搬具	272	328	409	464	402	
工具、器具及び備品	19	15	26	24	20	
土 地	3,109	3,109	3,114	3,162	3,162	
建 設 仮 勘 定	74	—	13	4	4	
無 形 固 定 資 産	14	12	46	67	49	0.5
投資その他の資産	2,462	1,640	1,513	1,397	1,719	16.0
投資有価証券	1,651	922	833	962	1,418	
長 期 貸 付 金	49	45	36	36	34	
繰 延 税 金 資 産	187	168	116	69	—	
そ の 他	672	529	621	339	278	
貸 倒 引 当 金	△98	△25	△94	△9	△12	
資 産 合 計	11,111	11,092	11,174	10,588	10,735	100.0

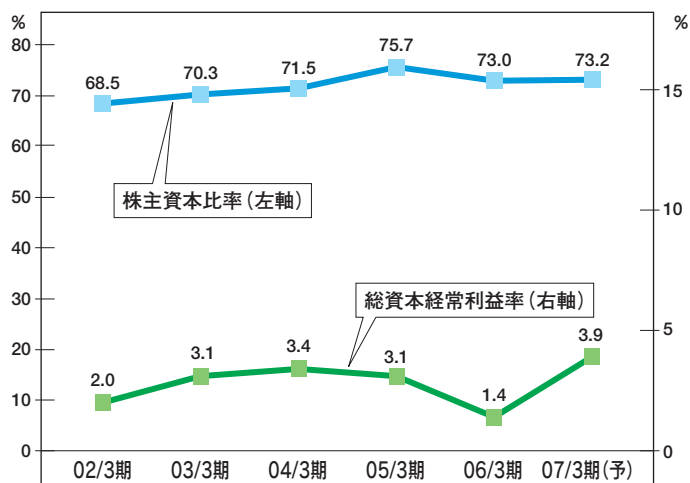
受取手形はすべて期日に取り立てており、手形の割引は行っておりません

八丁堀マンションの竣工より、たな卸資産が減少しております

財務諸表コメント

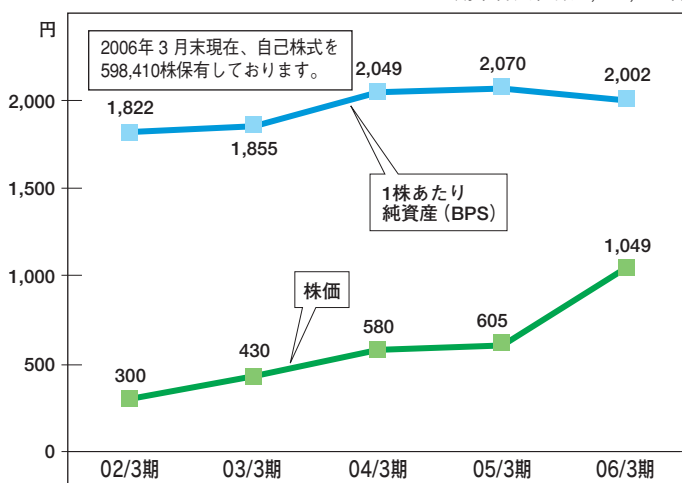
- 〔02/3期〕 マンション及び新幹線防音壁の売上数量の増加に不動産賃貸ビル収入増と不動産卸売りの収入が加わり、売上高・経常利益とも前期比堅調な伸びを示しましたが、マイカル社債及び青木建設の売掛債権関連の特別損失により、当期純利益は小幅に留まりました。
- 〔03/3期〕 採算重視の営業政策により売上数量が若干減少し減収となりましたが、営業利益・経常利益はコスト削減効果が加わり増益となりました。
- 〔04/3期〕 高層マンション向け床板等の売上が伸び、数量増効果とコスト削減により増収増益となっています。

総資本経常利益率と株主資本比率



株価の推移(終値)

期末株式総数 4,460,200株



貸借対照表要旨 (負債・資本の部)

(単位: 百万円)

	02/3期 単独	03/3期 単独	04/3期 連結	05/3期 連結	06/3期 連結	(%)
負債の部						
流動負債	2,503	2,413	2,507	1,953	1,959	18.2
買掛金	64	91	120	128	103	
工事未払金	67	73	77	97	103	
短期借入金	1,300	1,300	1,300	1,300	1,200	
一年内返済予定の長期借入金	129	123	162	57	56	
未払法人税等	16	66	141	13	140	
その他	926	757	706	355	355	
固定負債	998	871	680	620	943	8.8
長期借入金	400	276	114	56	—	
長期未払金	—	—	—	—	102	
役員退職引当金	161	171	167	171	—	
再評価に係る繰延税金負債	298	286	286	286	693	
その他	137	136	112	105	146	
負債合計	3,501	3,285	3,187	2,573	2,903	27.0
少数株主持分	—	—	—	—	—	
資本の部						
資本金	3,234	3,243	3,267	3,287	3,295	30.7
資本剰余金	3,732	3,604	3,628	3,648	3,657	34.1
利益剰余金	663	877	1,035	1,073	1,210	11.3
土地再評価差額金	161	172	172	172	△234	△2.2
その他有価証券評価差額金	△177	△80	86	105	183	1.7
自己株式	△4	△9	△205	△273	△279	△2.6
資本合計	7,609	7,807	7,986	8,014	7,832	73.0
負債、少数株主持分及び資本合計	11,111	11,092	11,174	10,588	10,735	100.0

支払手形の発行はございません
取引先から安心してお取引いただいております

役員退職慰労金制度廃止に伴う引当未払金です

土地再評価に係る繰延税金資産・負債の計上基準の変更によるものです

土地再評価に係る繰延税金資産・負債の計上基準の変更によるものです

株価の上昇等により増加しました

自己株式を約59万株保有しております

財務諸表コメント

〔05/3期〕 マンション及び新幹線受注の一時的な落ち込み、PC鋼線等の原材料費の増加で営業利益は低迷しましたが、不動産リートの運用収入等が寄与し、経常利益・当期純利益は黒字を確保しました。

〔06/3期〕 スパンクリート事業は、原材料費コストアップの販売価格への転嫁、操業度増による採算性向上などの要因により黒字転換いたしました。不動産事業は八丁堀マンション竣工により収益に大きく貢献いたしました。

利益処分

(単位：百万円)

	06/3期
当期純利益	168
前期繰越利益	741
当期末処分利益	910
株主配当金	46
役員賞与金	7
別途積立金	300
次期繰越利益	555

昨年配当10円に2円プラスした12円の配当とさせていただきます。

スパンクリートの特長

スパンクリートとは縦方向に数個の穴をもち、PC鋼線によってプレストレスを与えられたコンクリート板です。当社はスパンクリートの生産・販売・施工を行っております。

高強度部材で大スパンに適します



防水性に優れています



防火性に優れています



遮音性に優れています



ひとこと

工期の短縮



代表取締役社長
原田 穰

「時は金なり」という言葉は良く知られていますが、建設業界では必ずしも浸透していないのではないかと考えています。我が国のコンクリート建築の大宗は依然として現場打ちの型枠工法に頼っており、工場生産のコンクリート部材を使用する比率は欧米と比べてはるかに低いのが実状です。

建築用地が狭い、あるいは土地の形状が多様で定型化された建築部材を使いづらいという日本固有の事情があるとは思いますが、やはり工期とコストを直接結びつけて考える建築慣行が欧米と比べて少ないのではないかと考えられます。

日頃から営業部員に「当社の製品は工期短縮に大いに役立つ製品であり、そのメリットをお客様に充分理解してもらうように交渉しなさい」と指導していますが、「現状の建築業界は名目価格ベースの過当競争状態にあり、まずスパンクリートが他の製品あるいは工法と㎡当たりの単価で同等以下でないとお客さんは話を聞いてくれない。工期のメリットを検討してもらえるのはその次の段階になります」という答えが返ってきます。

しかしながら当社としては創業以来のミッションとして工期短縮が建築総コストを大幅に引き下げることを粘り強く訴えてまいりたいと思います。

最近当社では新製品「Jスラブ」(組立床工法・表紙写真)を開発いたしました。この製品は従来広く使用されているコンクリート部材の「合成床」に比べ、現場打ちコンクリートを打設する工程を大幅に省くことが可能であり、高層建築等大いに工期の短縮に役立つ製品であります。そのメリットをお客様にご理解いただき主力商品に育てていきたいと考えています。



□マンション

港区台場に建設された超高層33階建マンションの全フロアーに合成床板が採用されました。



□マンション

立川市に建設された大型マンションで床総厚300mm。大スパン（間口9m）のスパンクリート合成床板が全フロアーに採用されました。



□新製品Jスラブ

新製品Jスラブが全面採用された超高層マンションの第1号です。

通常の合成床と違い、現場打ちコンクリートの打設が不要のため工期の大幅短縮が可能になります。



□デザインパネル

東京23区発注の廃棄物処理施設の外壁にデザインパネル（石割肌模様板）が採用されました。



□防音壁

東北新幹線の防音壁の受注が堅調です。2010年新青森開業へ向けて八戸以北の出荷を開始しました。



会社の概要

1. 会 社 名 株式会社スパンクリートコーポレーション
(英 文 名) SPANCRETE CORPORATION
2. 設 立 1963年(昭和38年)3月23日
3. 資 本 金 32億9,582万円(2006年3月31日現在)
4. 役 員 取締役会長 村 山 好 弘
代表取締役社長 原 田 稔
常務取締役(生産管掌) 北 村 勲
常務取締役(営業管掌) 齊 藤 建 次
常務取締役(総務・企画管掌) 東 村 友 次
取 締 役 大 塚 尚
* 取 締 役 後 藤 考 司
* 取 締 役 北 川 尚 史
** 常 勤 監 査 役 大 谷 光 威
** 監 査 役 阿 部 裕 三
** 監 査 役 清 水 雄 輔

*は社外取締役です
**は社外監査役です

5. 本 社 東京都文京区本郷4-9-25
〒113-0033 TEL(03)5689-6311
6. 仙台営業所 宮城県仙台市青葉区一番町2-11-1 MS一番町ハイソ
301 〒980-0811 TEL(022)227-3432
7. 宇都宮工場 栃木県宇都宮市平出工業団地8-5
〒321-0905 TEL(028)661-2211
8. 岩 瀬 工 場 茨城県桜川市岩瀬2161-1
〒309-1211 TEL(0296)75-5711
9. 取 引 銀 行 みずほ銀行(丸の内中央支店)
三菱東京UFJ銀行(神田駅前支店)
りそな銀行(上野支店)
三菱UFJ信託銀行(本店)

主要取引先

- 設計事務所 三菱地所(株)・(株)日本設計・(株)日建設計・(株)日建ハウジングシステム・東電設計(株)・(株)松田平田・(株)梓設計・創元設計(株)・(株)横河建築設計事務所・(株)ジェイアール東日本建築設計事務所・独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構・(株)久米設計・(株)石本建築事務所 他
- 商 社 三菱商事(株)・三菱商事建材(株)・三井物産鉄鋼建材(株) 他
- 建 設 会 社 鹿島建設(株)・大成建設(株)・清水建設(株)・(株)竹中工務店・(株)大林組・前田建設工業(株)・戸田建設(株)・西松建設(株)・三井住友建設(株)・鉄建建設(株) 他



宇都宮工場

大株主

- 1 三菱商事(株) 2 日本スパンクリート機械(株)
- 3 鈴木金属工業(株) 4 村山 好弘
- 5 ソシエテジェネラルエヌアールエイエヌオーディティティ

会社の沿革

- 1963年 3月 スパンクリート製造株式会社(旧社名)設立
資本金1,000万円 代表取締役社長 村山好弘就任
4月 資本金4,000万円に増資
7月 資本金1億円に増資
- 1964年 2月 宇都宮第一工場屋外生産設備完備 試作開始 営業開始
7月 資本金2億円に増資
- 1970年 10月 宇都宮第二工場建設完了 生産開始
- 1971年 4月 日本スパンクリート協会を設立 会長に当社代表取締役社長村山好弘就任
- 1975年 10月 空胴プレストレストコンクリートパネル工業協会(穴あきPC板工業協会)設立
会長に当社代表取締役社長 村山好弘就任
- 1976年 5月 JISA6511(空胴プレストレストコンクリートパネル)制定される
- 1979年 12月 資本金2億3,000万円に増資
- 1982年 12月 宇都宮工場 JIS指定工場となる
- 1984年 3月 スパンクリート合成床工法 建設大臣認定を取得
7月 宇都宮第三工場生産設備完了 生産開始
- 1988年 11月 資本金2億9,000万円に増資
- 1989年 5月 スパンクリート合成床工法 特許を取得
10月 資本金4億2,434万円に増資
11月 資本金14億9,759万円に増資
11月 岩瀬工場建設完了 生産開始
- 1990年 2月 スパンクリート合成床工法 発明大賞受賞
- 1991年 2月 社名をスパンクリート製造株式会社から株式会社スパンクリートコーポレーションに変更
4月 スパンクリート合成床工法 科学技術庁長官賞受賞
9月 株式を公開(店頭) 資本金32億3,459万円に増資
- 1992年 4月 当社代表取締役社長 村山好弘 黄綬褒賞受賞(スパンクリート合成床の発明考案など業務精励)
5月 株式を1対1.4に分割
- 1993年 5月 岩瀬工場 JIS指定工場となる
- 1996年 7月 本社を文京区本郷4丁目に移転
- 2003年 8月 Jスラブ(組立床工法)(財)日本建築センターの構造評定を取得
- 2004年 3月 明星プレテック株式会社(4月プレテック株式会社に社名変更)の株式を100%取得
- 2005年 5月 宇都宮工場・岩瀬工場・設計部 ISO 9001認証取得
6月 代表者変更 原田稔代表取締役社長就任
村山好弘取締役会長就任
11月 1単元の株式数を1,000株から100株に変更
- 2006年 3月 プレテック株式会社解散



岩瀬工場